



とうえい

令和3年10月4日
東栄小学校
学校だより第6号

黙食！ ～味覚を楽しむ～

すすきやコスモスに秋の風情を感じる季節となりました。感染力が強いデルタ株が拡大し、不安や緊張感が募り、登校させることさえ不安に感じている保護者の方もおられると思います。感染防止対策をより一層講じながらスタートした2学期も約1か月が経ちました。朝の検温、マスクの着用、手洗い、消毒、密を避けるなど、子どもたちの感染症予防に努めている姿を見て、いつも感心しています。



さて、学校生活の中で最も気を付けている時は、給食の時間です。食事中に飛沫が飛ばないように全員が黒板の方を向き、机の間隔を空け、おしゃべりせずに黙々と食べています。安全・安心な給食の時間の対策として始まった黙食を約1年半経験しました。黙食が始まった当初は、それまで会話をしながら楽しんでいた給食をいきなり「黙って食べなさい。」と言われても困ってしまう子や、間がもたない子もいたと思います。先日、6年生の子たちとの会話の中で黙食について聞いてみると、「以前のようにグループでおしゃべりしながら楽しく食べたい。」「黙って食べることに慣れた。」「給食のメニューを味わいながら食べている。」など、様々な思いをもっていることが分かりました。現在、どの教室でもお皿とスプーンが当たった時のカチッという音が聞こえるぐらい静かに粛々と食べています。

そこで、黙食で食べ物にしっかり向き合える今だからこそ、甘み・塩味・酸味・苦味・うま味の5つの味覚をよく噛んで味わってほしいと思います。「今日のカレーライスが甘くておいしかったなあ。」「薄味でこの食べ物はおいしいね。」「お家の味とどうして違うのだろう？」など、素材の味を一つずつ認識しながら味覚を楽しむことにより、黙食がさらに楽しくなると思います。新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見えない状況にあり、黙食はしばらくの間、続きそうです。黙食を不便な取り組みと捉えるのではなく、今まで気にかけていなかったことを考えるチャンスと捉えれば、新たに得られるものがあるかもしれませんね。

～創立70周年今昔物語その5～

昭和35年に鉄筋2階建ての新しい校舎ができました。その後、児童数の増加に伴い、校舎を増築し、現在（北館3階・南館3階）に至っています。



(校長 井田 寿)